

新型コロナウイルス感染症オミクロン株における感染症対策について

全国でオミクロン株による感染が拡がり、和歌山県においても感染者が激増しており、これまでにない感染爆発、第6波により警戒すべき状況にあります。オミクロン株は重症化リスクが低いといわれていますが、今後、爆発的に感染者が増加し続けた場合、医療提供体制を揺るがすのみならず、エッセンシャルワーカーの確保・維持が難しくなります。その結果、病院、福祉施設、企業、学校など社会・経済の基盤となる様々な領域で機能停止に至りかねません。

本会組合員の皆様におかれましては、「第6波」の拡大阻止に向けて、引き続き本会作成のガイドラインに沿って、通院されている患者さん、ご自身や大切なご家族の命、そして地域医療を守るため、徹底した感染防止の取組みをお願いします。

オミクロン株の警戒すべき特徴

○高い伝播性

・感染力の強さがデルタ株の3倍程度。和歌山県では令和4年1月28日に595人と600人に迫る勢いの感染者数となり、連日過去最多を更新するなど、爆発的に感染が拡大。

○短い潜伏期間

・オミクロン株感染者の97%が5日以内に発症。

○ブレークスルー感染の懸念

・オミクロン株感染確定者の大半がワクチン接種済。

新型コロナウイルス感染症に罹患した場合について

○濃厚接触者の定義

新型コロナウイルス感染症のPCR検査等で陽性となった者（患者）と、感染の可能性のある期間（症状が出る2日前から入院等になるまでの期間）に接触し、以下の範囲に該当する場合は濃厚接触者と定義されます。

- ・患者と同居あるいは長時間の接触（車内・航空機内等を含む）があった者
- ・適切な感染防護（マスクの着用など）なしに患者を診察、看護もしくは介護をした者
- ・患者の気道分泌液もしくは体液などの汚染物に直接接触した可能性のある者
- ・手で触れることのできる距離（1メートル）で、必要な感染予防策なしで患者と15分以上の接触のあった者

○施術所の患者がコロナ陽性と判明した場合

直ちに保健所に連絡してください。濃厚接触者に該当するかは保健所が陽性者や接触者から聞き取り調査を行い「新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領」に記載されている定義を踏まえて、マスク着用の有無、接触時間の長さ、距離の近さ、空間の密閉度や患者の症状などから状況に応じて総合的に判断します。そのため、陽性者との接触があったとしても一概に濃厚接触者になるとは言えません。

○濃厚接触者となった場合

濃厚接触者と判断された場合、感染している可能性があることから、陽性者と最終接触があった日（最終曝露日）を0日として翌日から10日目^{注1}）に検査を行い、陰性であれば待機解除となります。待機中は健康状態に注意してください。外出は自粛するなど保健所の指示に従ってください。

注1）待機期間については今後短縮される可能性があり、随時政府からの発表を注視してください。